

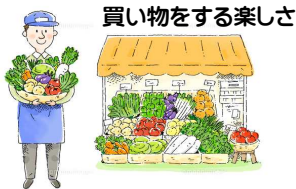
城北まちづくり通信

2021 / 6 / 10
17号
城北まちづくり協議会
事務局：城北地区公民館

“つながりをつくる”場づくり”として“マルシェ”を事業展開しています。

本年度から「日置地区」とコラボして、月1回を目標に“マルシェ”を事業計画していることは「まちづくり通信12号」でお知らせしました。「文化・交流部会」が事業展開します。「楽しい通いの場づくり」が目的です。来場者へ、「買い物をする楽しさ」を味わっていただこうと企画しています。

6月18日【金】 〈11時～12時〉を予定しています。



「日置地区」へは、商店に出荷できないような、「規格外の野菜なども、お安く販売してほしい旨」伝えていきます。「確約はできないものの、ブロッコリーなど季節の野菜を、お持ちすることができるのでは・・・。」という返事をいただいています。どんな野菜が並ぶのか？当日までの、お楽しみです。城北の地域通貨『城』を、使える

機会が少なくなりましたが、城北マルシェでは大歓迎です！！

予約の必要な品もあります。＊詳しいことは、公民館配布文書「マルシェ」広報パンフをご覧ください！

ひまわり隊の「焼き芋」なども販売予定です。社会との、つながりをつくる「場づくり」を目指しています。

副次的効果として、SDGs「食品ロス」への貢献。

コロナ禍で失われた、“外出や歩行”・“人との交流”・“社会参加”をうながす効果も期待しています。鳥取市社会福祉協議会コーディネーター(2人)も、販売員として活動に協力してもらっています。＊若い男性2人です。気軽に話しかけていただくと、うれしいです。

「城北いこいの家」のエアコン “解決しました？”

「城北いこいの家」の利用者から、「エアコンの効きが悪いので、なんとかしてほしい」との声を受けて、鳥取市の担当課である、長寿社会課と折衝を重ねていることは、「まちづくり通信16号」でお知らせしましたが、“解決しました？”。

長寿社会課の依頼で、6月7日(11:00～)に、エアコン修理専門業者に見てもらったところ、室内機のフィルターにホコリが溜まり、空気が通りにくくなっていたことが原因だったと分かりました。

フィルターの掃除をしてもらったところ、効きが良くなりました。一般的に、エアコンの耐用年数は、約10年とされています。

耐用年数がすぎたエアコンを、そのまま使い続けると部品の劣化から電気代が余分にかかってしまったり、汚れた空気で健康を害してしまうことも伝えられています。近い将来、新しいものと交換したいと考えますが、・・・。課題は、費用の捻出です。長寿社会課からは、「とりあえず、しばらく様子を見てください・・・。」という回答をいただきました。

